



佐藤誠七 町長

平成25年度
施政方針
(要旨抜粋)

第5次白鷹町総合計画の着実な推進

平成25年度は、町誕生60周年の前年であり、第5次白鷹町総合計画の前期基本計画の終盤として、施策の検証を行いながら、次代につながるまちづくりを確実に創りあげていくことが求められています。引き続き、安心・安全なくらしを推進するとともに、人口減少やグローバル化の現下の経済情勢などをふまえ「共創のまちづくり」の理念のもと、人づくりをベースに「子育て・教育」「雇用・産業」「地域」の3分野を重点として施策を展開し「笑顔かがやき 心かよ う 美しいまち」の実現を目指していきます。

この町に「住み続

総額

平成25年度各会計当初予算額			
会計名		予算額	
一般会計		71億9600万円	
特別会計	十王財産区	41万円	
	下水道	6億9977万円	
	国民健康保険	16億2909万円	
	農業集落排水	1億4646万円	
	介護保険	15億2209万円	
	後期高齢者医療	1億3527万円	
企業会計	水道	収益的支出	2億9822万円
		資本的支出	1億1269万円
	病院	収益的支出	11億6875万円
		資本的支出	1億3941万円
	訪問看護ステーション	収益的支出	3504万円
		資本的支出	0
総 額		130億8320万円	

※万円未満は端数を整理しています。

総括質疑

小形輝雄 議員

●置賜生活圏30分構想の推進方策は

小形 置賜生活圏30分構想を実現する具体的推進方策と、地元主体で推進する西回り幹線道路の取り組みの方向性とスケジュールを伺う。

町長

早期着工を実現するために、今年3月に推進組織を立ち上げることになっている。今後、長井地区の組織と連携をはかって推進していきたいと考えている。

●いじめや体罰の有無は

小形 本町の教育機関でのいじめや体罰の有無と対策を伺う。

教育長

今年度の各学校からの報告で軽微ないじめの事例が2件報告されている。体罰の事例はない。いじめ対策としては、教育相談定例会、いじめ・不登校発生予防研修会などを開催して未然防止に取り組んでいる。体罰については、教育長名で体罰禁止徹底の通知を各学校に出し、周知をはかっている。

今野正明 議員

●鮎貝まちづくり事業の今後は

今野 鮎貝地域は、教育や歴史、文化に重みのある地域だ。今後は、子育て・福祉の充実に加えて、文化交流、人づくりをベースにした風格あるまちづくりをすすめるべき。今後の取り組みを伺う。

町長

地域の方々の地域づくりの取り組みに対して、いろいろな環境づくりをしていくのが行政の責務であるという認識でまちづくりをすすめていく。

●コミュニティセンターの考え方は

今野 コミュニティセンター化は、地域の実情に合わせたなかで育んでいくということだが、考え方を伺う。

町長

お互いの立場を尊重し合いながら、コミュニティの原点である、自分たちでつくるまちづくりを追究していく必要があると思う。平成27年度をめどに条例などを整備し、経過措置も含め順次すすめていきたいと思う。